

平成29年度 自然観察会 実施報告

四日市自然保護推進委員会

回数	第 7 回	参加者数	11 名	
テーマ	秋の里山散策			
実施日	平成29年10月8日	天候	晴れ	
場所	神前丘陵			
コース	開会時刻（10：00） 神前地区市民センター → 神前小学校北側農道 → 丘陵内山道 → 林縁 解散時刻（12：00）			
<p>指導内容・反省・感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・穏やかに晴れ上がった天気の良い日となり、ました。参加者が意外に少なく、他のイベントと重なっていた可能性があります。半袖での参加者もあり、山道では蚊に刺されました。 ・季節的にスズメバチの出現に警戒していましたが、特にけがはありませんでした。 ・クモや昆虫の出現が多く、植物もたくさん見られ、盛りだくさんの観察会となりました。 ・神前地区には豊かな自然が残っていることを確認できました。 				
<p>参加者の感想・声など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・偶然に参加したが、とても楽しかった。 ・夢中になって虫を捕るときは、まわりに注意した方が良いと思います。 ・今回も楽しく参加させてもらいました。子供は地層の話に興味を持ったようで、喜んでいました。 				

シュレーゲルアオガエル



クサギの果実



観察記録（観察・採集・目撃・鳴き声 などの種類）	
観察物の花期、出現期などの状況	
植物	<p>・昆虫やクモなどの出現が多く、説明する場面は少なかった。秋の里山らしい植物が多く残っている場所である。湿り気の多い山道では、シダの前葉体を探した。</p> <p>ジュズダマ、キツネノマゴ、マルバルコウ、コセンダングサ、アメリカセンダングサ、アキノノゲシ、アキノタムラソウ、ツリガネニンジン、ホシアサガオ、イスタデ、テリミノイヌホオズキ？、ノブドウ、ミツバアケビ、ベニバナボロギク、スズメウリ、カラスウリ、ヒレタゴボウ、ヤブハギ、ヒナタノイノコヅチ、アキノタムラソウ、ヒヨドリバナ、ツリガネニンジン、ケヤマウコギ、ヤブマメ、オナモミのなかま、クサギ、ヒサカキ、チカラシバ、コナラ（ドングリ）、クリ、ワレモコウ、アカメヤナギ、ノアザミ、ダンドボロギク、イヌコウジュ、キンエノコロ、アキノエノコログサ、シダの前葉体</p>
昆虫	<p>・カマキリの種類と、オスとメスの見分け方など</p> <p>キタキチョウ、アゲハ、ヤマトシジミ、モンシロチョウ、オオカマキリ、カマキリ（チョウセンカマキリ）、ハラビロカマキリ、サトクダマキモドキ、コバネイナゴ、エンマコオロギ、カネタタキ、アオマツムシ、クサヒバリ、オカメコオロギ、コガタスズメバチ、ツチイナゴ、アキアカネ、クビキリギス（褐色型）、ウスバキトンボ、ハラオカメコオロギ、ショウリョウバッタ、トノサマバッタ、ヒメカメノコテントウ、モンキ、チョウ、ヒメアカタテハ、クマバチ、キタテハ、セイヨウミツバチ、モンキアゲハ、オオスズメバチ、マダラスズ、イチモンジセセリ、セスジツユムシ、ツماغロヒョウモン、メスグロヒョウモン、ハグロトンボ、アオイトトンボ、クロゴキブリ</p>
クモ類	<p>・コガタコガネグモのなかまと円網の仕組み、かくれ帯について、外来種、クサグモの棚網について、ジョロウグモの一生、網のしくみ、糸の強度、えさの捕り方</p> <p>クロガケジグモ、クサグモ、オオシロカネグモ、アシナガグモ、ドヨウオニグモ、ヒナハグモ、ジョロウグモ、ナガコガネグモ、コガタコガネグモ、ワキグロサツマノミダマシ、コモリグモ類、シロカネイソウロウグモ、コハナグモ、ハツリグモ、ヤマウズグモ</p>
地学	<p>・神前地域の地質と地形</p> <p>東海湖と年代、粘土層と用途、火山灰層と用途、鈴鹿山脈と一志層群、古木曾川</p>
野鳥	<p>ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ（渡り）、モズ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、ヤマガラ、キジバト、スズメ、キセキレイ、シジュウカラ、メジロ</p>
動物	<p>モグラ（塚）、ニホンアマガエル、ヌマガエル、シュレーゲルアオガエル、オイカワ、イセノナマイマイ、コベソマイマイ、ウスカワマイマイ、カワナナ、アメリカザリガニ</p>
その他	<p>ツエタケ、ホコリタケのなかま</p>